

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【公表番号】特表2012-515075(P2012-515075A)

【公表日】平成24年7月5日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-026

【出願番号】特願2011-545634(P2011-545634)

【国際特許分類】

B 0 1 D 69/00 (2006.01)

B 0 1 D 71/68 (2006.01)

B 0 1 D 71/16 (2006.01)

B 0 1 D 71/14 (2006.01)

B 0 1 D 71/34 (2006.01)

B 0 1 D 71/26 (2006.01)

B 0 1 D 71/36 (2006.01)

B 0 1 D 71/56 (2006.01)

B 0 1 D 71/44 (2006.01)

B 0 1 D 71/52 (2006.01)

B 0 1 D 71/32 (2006.01)

B 0 1 D 71/12 (2006.01)

B 0 1 D 71/38 (2006.01)

B 0 1 D 71/20 (2006.01)

B 0 1 D 71/08 (2006.01)

B 0 1 D 69/12 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 69/00 5 0 0

B 0 1 D 71/68

B 0 1 D 71/16

B 0 1 D 71/14

B 0 1 D 71/34

B 0 1 D 71/26

B 0 1 D 71/36

B 0 1 D 71/56

B 0 1 D 71/44

B 0 1 D 71/52

B 0 1 D 71/32

B 0 1 D 71/12

B 0 1 D 71/38

B 0 1 D 71/20

B 0 1 D 71/08

B 0 1 D 69/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月22日 (2014.4.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 9 】

適切な量のポリマーが、溶媒中に溶解したまたは分散した状態で存在する。修飾ポリマーの濃度および引き続く電子線照射のパラメーターの適切な調節が、調節可能に変化した浸透性を有する膜を製造するために、本発明の方法において用いられることができる。処理によって、浸透性が 9 0 % 以下、より好ましくは 5 0 % 以下、および最も好ましくは 1 0 % 以下低減されることが、特に好ましい。本発明の文脈において、浸透性は標準差圧 (standardized differential pressure) 下において単位膜面積あたりの 2 0 での膜を通じて流れる水の体積であり、リットル / (時間・平方メートル・バール) で報告される。

【 誤訳訂正 2 】

【 訂正対象書類名 】 明細書

【 訂正対象項目名 】 0 0 3 2

【 訂正方法 】 変更

【 訂正の内容 】

【 0 0 3 2 】

本発明の方法は、実質的に孔質な出発膜の実質的に全ての表面 (つまり、壁面内部の孔を含む) を、修飾ポリマーで被覆する。好ましくは、膜の内部および外部表面は、プロセスにおいて、浸透性が 9 0 % 以下、好ましくは 5 0 % 以下、および最も好ましくは 1 0 % 以下低減されるように、修飾される。